

しあわせ

第 135 号

社会福祉法人
棚倉町社会福祉協議会
棚倉町大字棚倉字中居野68番地1
電話 (0247) 33-2623
FAX (0247) 23-1525

「きれいな町づくり」のために！！



棚倉町赤十字奉仕団では、今年も8月の「道路を守る月間（道の日）」にちなみ、『クリーンアップ作戦』を実施しました。団員33名が早朝から各方部5班に分かれてスタートし、ごみ袋と火ばさみを手に主要町道及び生活道路のごみを拾いながらゴールの城跡へと向かいました。近津地区は近津駅周辺のごみ拾いをして、現地解散となりました。

今年度は可燃ごみ3袋、不燃ごみ1袋を拾い集めました。



棚倉町赤十字奉仕団の皆さんお疲れさまでした！

社会福祉協議会は地域福祉の要として、多くの
人々の善意に支えられ、福祉事業活動を行って
います。住み慣れた町（地域）で安心して、生活で
きるよう、みんなで互助の心をはぐくみ、支え合
い、福祉の「まちづくり」を推進しましょう。

目次

	ページ
・ご寄附紹介・役員紹介	2
・愛ちゃん希望くんだより・バザー募集	3
・しあわせ指定居宅介護支援事業所	4
・生活支援コーディネーターだより	5
・地域包括支援センター	6～7
・ボランティアセンター	8～9
・お知らせコーナー	10

ご寄附

社会福祉に役立ててくださいと、多くの方々から善意の寄附金が寄せられました。
深く感謝申し上げます。(令和6年6月23日～令和6年9月14日)

【御遺志金】

氏名	摘要	地区	氏名	摘要	地区
緑川 安寿 様	故 緑川 リセ 様	一色	薄葉 義博 様	故 薄葉扶佐子 様	堤
齋藤 利久 様	故 齋藤ヒサノ 様	流	陣野 元子 様	故 陣野 政男 様	城跡
緑川 久雄 様	故 関川 初枝 様	白河市	沼野裕一郎 様	故 沼野 博 様	岡田
高橋 正 様	故 高橋 勇一 様	塚原	富岡タカ子 様	故 渡邊ミツノ 様	東京都
秋山 良司 様	故 秋山テル子 様	強梨	根本 正幸 様	故 根本マサイ 様	堀川
生方 聡 様	故 生方ハツヨ 様	岡田	鈴木 義博 様	故 鈴木 正雄 様	戸中
佐藤 正俊 様	故 佐藤 重孝 様	関口	芳賀 洋章 様	故 芳賀カツ子 様	丸内
遠藤 博久 様	故 遠藤 長治 様	南町	鈴木 芳美 様	故 鈴木 昭美 様	関口
半澤 正人 様	故 半澤カツヨ 様	南町	松本 博和 様	故 松本 悦子 様	水白田
生方 恒雄 様	故 生方ウメ子 様	岡田			

その他寄附

☆郡山ヤクルト販売様より

ヤクルトレディの売上の一部として



☆みやぎ生活協同組合・

コープふくしま様より

宅配フードドライブ461点



☆東西しらかわ農業協同組合

女性部様より

古新聞で作ったゴミ袋900袋



役員紹介

退任 会長(理事) 湯座 一平 様

社会福祉協議会会長(理事)であった湯座一平様が9月7日付で会長を退任されました。

湯座様には平成24年の就任以来12年間にわたり、社会福祉協議会の事業運営について、ご尽力をいただきました。ありがとうございました。



就任 会長(理事) 宮川 政夫 様

令和6年9月12日に評議員会・理事会を開催し、会長の選任を行い、新たに宮川政夫氏を会長(理事)に選任することで決定いたしました。

地域福祉の充実のため、社協活動へ積極的なご支援をいただけますようお願いいたします。





愛ちゃん希望くんだより



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動が始まりました

「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」には毎年ご協力を賜り感謝申し上げます。
今年もみなさまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年度の目標

赤い羽根共同募金 1,949,000円

歳末たすけあい募金 2,086,000円

赤い羽根共同募金は、翌年度県内社会福祉事業と棚倉町に配分され、各種団体への助成、サマーショートボランティアスクール開催、ボランティア活動保険料、重度心身障害者自動車燃料費助成事業等への助成金として使われます。

歳末たすけあい募金は、当年度の歳末見舞金贈呈事業、一人暮らし高齢者火災報知機リース料、高齢者交流会開催、ボランティア活動、社協広報発行等の地域福祉活動支援に役立てられます。



- 社会など法人の寄附金は、全額損金算入できます。
- 個人の寄附金は、所得税及び住民税にかかる税上の優遇措置があります。

バザー品を募集しています

受付場所 棚倉町社会福祉協議会（保健福祉センター内）

受付期限 **10月15日（火）まで**

- ※ 受付物は、新品（未使用品）のものに限らせていただきます。
- ※ 食品等については、お預かりできませんのでご了承ください。
- ※ 持参することができない場合、連絡頂ければ取りに伺います。



みなさまのご協力をお願いいたします

赤い羽根共同募金運動チャリティーバザー開催

日時 **10月20日（日）午前10時～午後3時**

場所 棚倉城跡内「本丸エリア」（たなぐら“まるごと”フェスタ開催会場内）

みなさまのお越しをお待ちしております

バザーの収益金はすべて福島県共同募金会へ送金し、
様々な社会福祉事業へ活用します。





しあわせ指定居宅介護支援事業所



～介護負担割合証について～

介護保険負担割合証	
交付年月日	
被 保 険 者	番 号
	住 所
	フリガナ
	氏 名
生年月日	
利用者負担の割合	開始年月日 終了年月日 開始年月日 終了年月日
保険者番号及び 被保険者の名称 及び印	

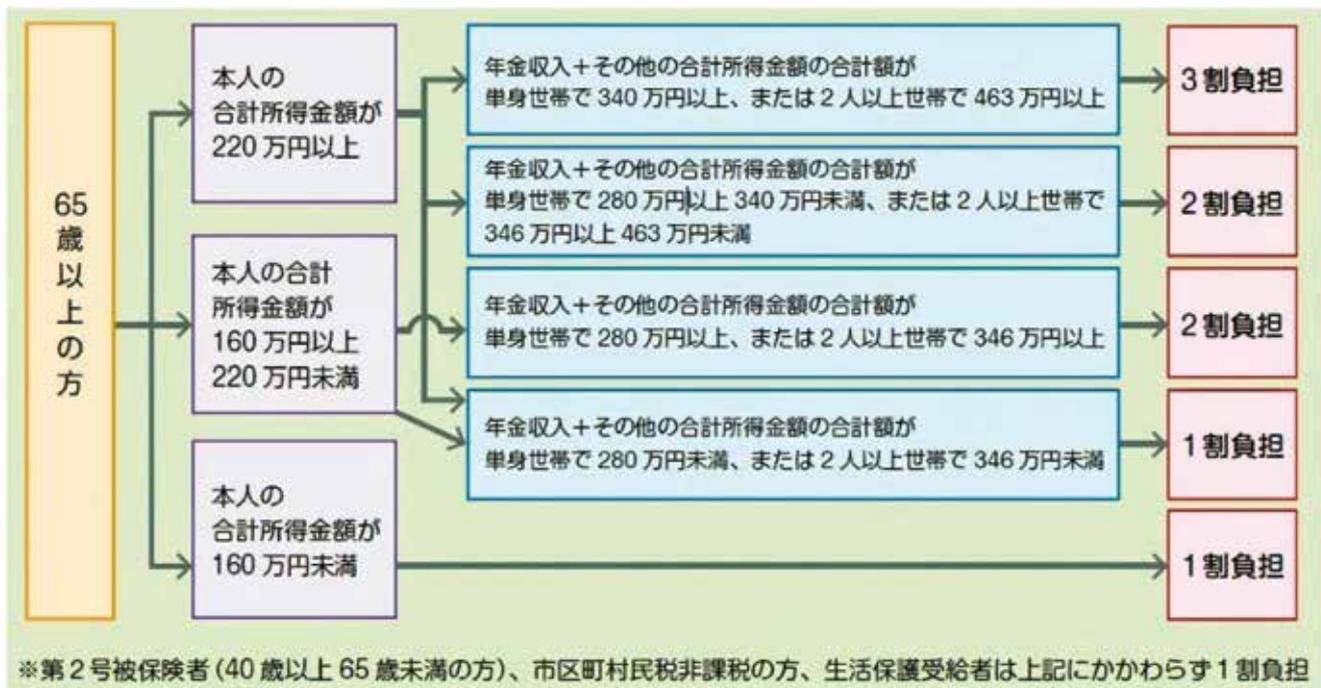
介護保険負担割合証（以下、負担割合証）とは、介護保険サービスを利用する際に、利用者の負担割合が何割かを示すものです。介護認定を受けている方、介護予防・生活支援サービス事業対象者全員に交付され、毎年7月中旬～下旬に役場から郵送されます。

負担割合証の有効期限は、8月1日から翌年7月31日までです。

介護保険の負担割合は、利用者の負担能力に応じて、かかった費用の1割・2割・3割のいずれかで負担割合証の「利用者負担の割合」の欄に記載されています。負担割合は、前年の所得に応じて決まります。同じ世帯でも負担割合が異なる場合があります。

介護サービスを利用する時には、介護保険被保険者証と負担割合証をサービス事業所に提示する必要があります。

【利用者負担の判定の流れ】



※介護支援専門員が「自宅で生活したい」を応援します。お気軽にご相談ください。

☎ 33-2623 （担当：江戸・安久津・西牧・土屋）

生活支援コーディネーターだより



高齢者の買物支援ツアー



高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりに向けた活動のひとつとして、ひなたぼっこ（棚倉町協議体）では『買い物支援ツアー』を実施しています。

参加者からの回数を増やしてほしいとの要望をうけ、今年度は年間16回計画しており、前期は6月・8月に4地区毎に開催され、合計23名の方が参加されました。

～修明高校の生徒がボランティアで参加しました！～

修明高校ボランティア愛好会の皆さんが夏休み期間に各事業へボランティアとして参加し、買い物支援ツアーも2日間お手伝いいただきました。参加された方は、買い物のメモを見せ、商品の場所を高校生と確認し合いながら店内を回っていました。高校生やひなたぼっこの皆さんと楽しく会話され、参加者はいきいきとした表情で買い物されていました。

8月19日 ★棚倉地区★



8月23日 ★社川地区★



8月26日 ★高野地区★



8月30日 ★近津・山岡地区★



洗剤や調味料をたくさん
買っていました！
自宅までの運搬もお手伝
いするのでご心配なく♪

有償ボランティアとして活動してくださる方を募集しています！

要介護認定（要支援1・2、要介護1・2）を受けた方の家事の一部（買い物・調理・掃除・ゴミ出しなど）をお手伝いいただくボランティアです。空いている時間を有効利用し支援が必要な方のお手伝いをしてみませんか？

活動時間、報償費など

- ・毎週月曜～金曜まで、午前8時～午後5時（土・日・祝日、12月29日～1月3日年末年始は休み）
- ・支援時間は1回1時間です。活動できる時間帯を確認し、シフトを組ませていただきます。ひと月の活動回数も希望に応じて調整できます。
- ・報償費は1回1000円（源泉徴収分を差し引かせていただきます。）

☆活動するためには？☆

町で開催する養成研修に参加していただき、ボランティア活動支援員としての登録が必要になります。今年度は11月頃に開催予定です。興味のある方はお問い合わせください。

色々な方との出会いがあり、
すき間時間で活動できます！



【お問い合わせ】 TEL 33-7811 生活支援コーディネーター担当：小林(久)・小林(愛)

こんにちは！

地域包括支援センターです

～地域包括支援センターは、高齢者又はその家族等のなんでも相談窓口です～

☎33-7811

※休日や夜間も電話転送により対応しています。



ケアマネジャー連絡会議にて研修会を行いました！

地域包括支援センターでは月1回、ケアマネジャー連絡会議を開催し、地域の高齢者を支える関係機関の連携を図るため、情報交換や研修会を行っています。

6月には添田聡子氏（塙厚生病院 福島県糖尿病療養指導士）を講師に招き、「糖尿病患者の療養生活について」をテーマに、食事療法や運動療法、ケアマネジャーが押さえておくべきポイントなどを学びました。7月には真尾敦氏（養護老人ホーム 藤井ハイムやみぞ施設長）を講師に招き、養護老人ホームの機能や役割、入所の要件や緊急入所支援の内容についてなど説明いただきました。

たなちゃんカフェ開催しています♪

今年度第2回7月25日は健康運動実践指導者の河治郁子先生を講師に認知症予防健康体操を実施しました！今回は夏休み中の修明高校ボランティア愛好会の高校生5名も一緒に参加です。

音楽にのせてみんなで体操や、ボールを使ったリズム体操も行いました。参加者からは、毎日TV体操をしていても今日の体操は非常にいい体操で満足しました、高校生からも体操を行ってみて見た目以上にきつかったなどと感想をもらいました。また体操の後には参加者と高校生とのお話をする機会を設けることもできました。たなちゃんカフェでは認知症の方、介護をするご家族だけではなく、地域の方が誰でも気軽に参加できるような企画をしていますので、ぜひご参加お待ちしております♪



家族介護教室の開催のご案内

介護についての知識や基本を学ぶ講座です。現在、ご家族の介護をされている方、これからのために介護を学びたい方などお気軽にご参加ください♪

【場所】保健福祉センター 検診室または研修室

【時間】午後1時30分～午後3時

【日程】①10月11日（金）知って楽ちん！介護のコツ～便利な福祉用具の紹介～

②10月28日（月）薬局との上手な付き合いかた～さくら薬局薬剤師星さんによる講話～



【お問い合わせ】棚倉町地域包括支援センター（担当：後藤、西牧(和)、川崎、富岡）

映画『人生をしまう時間』上映会開催



令和6年8月9日（金）、棚倉町保健福祉センター研修室を会場に、在宅医療介護連携推進事業として映画『人生をしまう時間』の上映会を開催し、町内外から関係機関・一般の方、約90名が参加されました。ご家族を看取った経験や仕事と重ねたり、ご自身の将来について考えたりという方も多く「もっと多くの人に見てもらいたい」「感動しました」などの感想が寄せられました。

住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしを続けたい…そのためには医療と介護の連携が重要です。在宅医療や介護サービスの充実などの課題もありますが、映画を通して在宅医療や介護について理解を深めていただく機会となりました。



患者さんやそのご家族の気持ちに最後まで寄り添う、先生や訪問看護師、ケアマネジャーの姿が印象的でした。

～上映後の感想より～

- ・最後をその人らしく過ごすこと、それに関わる人の大切さが分かった。本人のみでなく家族への心配りが大切でできるようになるのは大変だと思う。自宅で過ごせる幸せが詰っていた。(ケアマネジャー)
- ・在宅医療を受ける要介護者とその家族、それを支える現場の様子がわかった。(行政)
- ・在宅介護の実際の様子を見ることが出来、ありがとうございます。家族とも話してみたいです。(80代、男性)
- ・一緒に暮らしている義母との生活が重なり胸がいっぱいになりました。(70代、女性)
- ・在宅医療が病人にとってどれだけ安心できるかということを再認識しました。自分も終末期には家族に見守られてこんな最後を希望しています。(70代、女性)
- ・本人の希望をかなえること、寄り添うことの難しさなど考えさせられました。(60代、女性)

ボランティアセンター

～ボランティアでつながる地域づくり～



2024☆サマーショートボランティアスクール

郡内及び近隣の高校生を対象とし、夏休みの一定期間、ボランティア活動を体験する場を提供することにより、自分たちが住む地域福祉の現状を理解し、ボランティア活動への積極的な参加促進を図ることを目的として実施しています。今年度は23名の高校生が参加し、棚倉町では16名、「棚倉幼稚園」、「棚倉児童クラブ」、「ドリーム&ホープ」、「ほたるの里」、「なごみ」で活動させていただきました。

昨年に引き続き参加した生徒もあり、経験を積み重ねた3年生はボランティア活動に慣れた様子もあり、とても頼もしい姿が見られました。将来の夢に向けて、活動施設を選んだ子たちも、色々と気づきのある貴重な体験になったようです。

☆生徒からの感想☆

- ・色々な人と話すことができ、とても良い経験ができた。どの体験もためになるものばかりで充実した2日間だった。
- ・子どもたちとたくさん遊ぶことができ、楽しかった。子どものことについて知れた。将来へ生かしたい。
- ・普段体験できないようなことをたくさん体験できた。また参加したいと思いました。

★施設からの感想★

- ・明確な意思、目標をもってボランティアに参加されて素晴らしいと思った。
- ・園児たちも、高校生が来るのを楽しみにしており、笑顔で楽しく過ごせた。読み聞かせが上手でした。
- ・福祉や介護の現場について理解してもらう良い機会となった。今後も継続的なボランティアになると良いと思います。



来年もみなさんの参加をお待ちしております！！



👉 開校式の様子

施設へのプレゼントに
折り紙万華鏡を作成！



閉校式の様子👉

グループワークで各施設での活動を振り返り、共有しました！



高齢者疑似体験教室を開催しました！

7月9日に修明高校ボランティア愛好会の皆さんを対象に行いました。「高齢者のこころとからだを理解しよう」の講義後に、疑似体験セットを身につけ、手先の動作や読みもの、階段の昇降を体験してもらいました。生徒からは、想像以上に大変だった。視界が悪いと階段を降りることがこんなに怖いものだと思わなかった…との感想が聞かれました。今回



の体験を生かし、今後も様々なボランティア活動に参加して下さるとのこと、とても心強いですね♪

8月7日に棚倉消防署にて開催し、郡内の署員13名が参加してくださいました。高齢者の身体状況、心理面を理解し、日頃の業務に活かしたいとご依頼をいただき、包括職員と一緒に実施しました。疑似体験後は、ボディメカニクスを活用した移乗方法について実技し、救助時の様々な場面を想定し、どう移乗すれば要救助者が不安なく移動できるのか、一緒に事例検討



を行いました。お互いに学びのある有意義な時間となりました。ありがとうございました。



棚倉町赤十字奉仕団

～ほたるの里奉仕作業・暑中見舞いのハガキを送る活動～

今年度も、団員21名が参加し、ほたるの里奉仕作業と暑中見舞いのハガキを送る活動を行いました。ほたるの里奉仕作業では、車椅子の清掃等をお手伝いしました。保健福祉センターで行われた暑中見舞いのハガキを送る活動では棚倉町在住75歳以上の一人暮らし334名の方へ心を込めて一字一字丁寧に書いていました。



4月から6月まで活動して頂いたボランティアの皆さま

- ☆いきいきくらぶ：食生活改善サポーターパブリカ、リリアフラスクール
- ☆棚倉サウンドテーブルテニスクラブ
- ☆音声コードの会・たなぐら
- ☆傾聴ボランティアほほえみ会
- ☆買い物支援ツアー：ひなたぼっこ（棚倉町協議体）
- ☆雑巾ボランティア：須田 フミ子様

ご協力ありがとうございました。

ボランティアをやってみたい、ボランティアに関心がある方はお問い合わせください。

お問い合わせ：棚倉町社会福祉協議会 ボランティアセンター

0247-33-2623 担当：小林（愛）

お知らせコーナー

《 心配ごと相談 》

【民生委員による相談】 毎月第2月曜日午前9時～正午（祝祭日の場合は翌日）

10月15日 11月11日 12月9日 1月14日 2月10日 3月10日

【弁護士による相談】 日時 毎月第3木曜日 午前10時30分～午後3時(相談時間30分程度)

10月17日 11月21日 12月19日 1月16日 2月20日 3月21日

※あらかじめ電話 **【33-2623】** で予約をしてお越しください。

※電話による受付予約は、前日 9時 ～ 17時まで
当日 9時 ～ 12時まで とします。

※来所による受付は、当日午前9時～午後3時までとします。

※相談については秘密を守ります。 ※相談は棚倉町保健福祉センター内相談室で行います。

※無料で相談に応じますのでお気軽にご利用下さい。

いきいきくらぶ（デイサービス）

- 開催日：週一回（毎週火曜日、水曜日、木曜日のいずれか）送迎付き
- 対象者：①基本チェックリストで閉じこもりの予防・認知症の予防・うつ予防が必要となった方
②65歳以上の一人暮らしの方及び日中独居の方
③介護認定を受けたが、非該当だった方
- 利用負担金：1回あたり700円（昼食代含む）



はつらつくらぶ(男性のみのデイサービス)

- 開催日：月一回（おおよそ第3金曜日）送迎付き
- 対象者：①65歳以上の男性一人暮らしの方
②外出の機会が少なくなった方
- 利用負担金：1回あたり800円（昼食代含む）



ホームページをリニューアルしました！！

より使いやすいホームページを目指して、デザインとページの構成を見直しました。これまで以上に、情報をお伝えできるように努めて参ります。

URL <https://www.tanagurashakyo.jp/>

Instagram もご覧ください。



社協で取り組んでいる各種事業やボランティア活動等の情報を発信していきます。
イベントの告知もしますので要チェック！